

検証結果③

取次停止済み窓口を5回は 最高額として推奨

NNコミュニケーションズの扱い (n=100)

取次停止済み窓口の扱い

取次停止に触れたうえで説明	26件
取次停止に触れず候補として提示	47件
最高額の窓口として推奨	5件
言及なし	22件



52件が停止状況を適切に扱えず

47件は停止済みであることに触れず
候補として提示

総合評価

そのまま信じて申し込める回答は11件 87件が損失・実害につながる水準

回答をそのまま信じて申し込めるか？

A

そのまま信じて申し込みOK
11.0% (11件)

B

念のため自分でも確認したほうがいい
2.0% (2件)

C

信じると損する可能性あり
75.0% (75件)

D

信じると実害が出る
12.0% (12件)



87件が損失・実害の恐れあり

調査結果から読み解く3つのポイント

ポイント①：古いキャンペーン金額を現在情報として答える

ポイント②：キャッシュバック総額と増額分を取り違える

ポイント③：取次停止の最新状況を安定して拾えない

クラシエルジュ『AIに聞いてみた』シリーズを継続。 テーマを変えてAI回答の正確性を検証へ

クラシエルジュは毎月テーマを変えて主要AIの回答精度を定点観測し、一定期間後には同一条件で再検証します。

比較の入口としての有用性は認めつつ、契約判断の前には公式情報での確認が欠かせないことを、今後も継続して発信していきます。

今回の結論

- AIの回答は比較検討の入口にはなるが、最新キャッシュバックの最終判断を任せられる精度には達していない
- 正しい金額を答えられたのは24.5%
- 同じ条件でも提示額は1万円～9万3,700円までばらついた
- 申し込み前には必ず公式情報で確認が必要

暮らしにまつわる比較検討におけるAI利用実態調査 アンケート結果詳細

報告日：2026年4月30日
株式会社クラシエルジュ

調査概要

調査期間：2026年4月
調査対象：全国の20歳以上の男女500名
調査方法：インターネット調査
調査主体：株式会社クラシエルジュ

回答者属性

性別（n=500）

回答	回答数	割合
男性	174	34.80%
女性	315	63.00%
回答しない	11	2.20%

年代（n=500）

回答	回答数	割合
20～29歳	73	14.60%
30～39歳	157	31.40%
40～49歳	169	33.80%
50～59歳	78	15.60%
60～69歳	19	3.80%
70歳以上	4	0.80%